



厚生労働省医政局委託事業
在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業

Prepare for the Worst, Plan for the Best

在宅医療・ケア提供機関を対象とした
Business Continuity Plan (事業継続計画) 策定支援研修



研修について

入院医療機関版

厚生労働省医政局
在宅医療提供機関のBCP策定に係る専門家委員会

◆◆研修について◆◆

在宅医療提供機関の BCP 策定に係る専門家委員会

【専門家委員会委員長】

山岸 暁美 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室
一社)コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長

【専門家委員】(五十音順)

秋富 慎司 日本医師会総合政策研究機構
池上 徹則 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 救急科主任部長
市川 学 芝浦工業大学システム理工学部 准教授
織田 良正 社会医療法人祐愛会織田病院 副院長
鎌田 徹 社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 病院長
清水 政克 医療法人社団清水メディカルクリニック 理事長・副院長
遠矢 純一郎 医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック 院長
古屋 聡 山梨市立牧丘病院 整形外科・訪問診療医師
三村 誠二 独立行政法人国立病院機構本部 DMAT 事務局 DMAT 事務局次長

【プロジェクトファシリテーター】

貝原 敏江 コミュニティヘルス研究機構

◆◆研修の背景と目的◆◆

- ・近年多発している自然災害や感染症等、医療設備への被害、従業員が感染した場合等においても、在宅療養患者に対して継続して医療・ケアを提供し続ける必要がある。
- ・本研修は、在宅医療提供機関の災害時における医療提供体制を充実・強化するため、Business Continuity Plan(以下、BCP) の策定支援研修を実施し、災害に強い在宅医療提供体制の構築を図ることを目的とする。
- ・なお、本研修のスタンスとして、講義とグループワークから成る2回のワークショップで、自機関の BCP 策定に資する知識の習得、情報交換、知見やアイデアの共有を主眼とする(このワークショップの参加時間に BCP 策定を終了することを目指すものではない)。

◆◆2024 年度研修の開催日◆◆

コース名	第 1 回	第 2 回
訪問看護コース	R6.10月26日(土)	R6.11月23日(土)
入院医療機関コース	R6.12月21日(土)	R7.2月8日(土)
無床診療所コース A	R7.1月18日(土)	R7.2月15日(土)
無床診療所コース B	R7.2月1日(土)	R7.3月1日(土)

◆◆研修概要◆◆

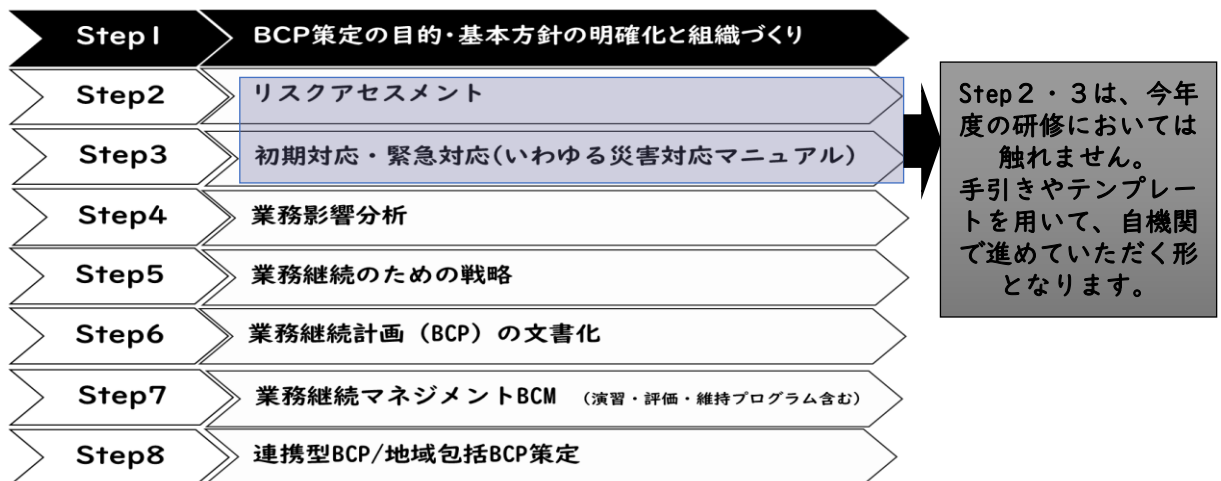
1. 研修の構成

◆第 1 回ワークショップ

BCP 策定にあたっての基礎知識、Step1、Step4-6

◆第 2 回ワークショップ

Step7~8



※今年度の研修は、緊急初期対応(いわゆる災害対応マニュアル)に関しては、手引きを元に自身で進めていただくということになっているとのこと。

2. 研修の対象

在宅医療・ケアを提供する入院医療機関(病院・有床診療所)に従事する職員を対象とする研修であることを基本とする

3. 研修の特徴

令和3年度厚生労働省特別研究で開発されたBCP策定の手引きならびにテンプレートに沿って進めていくことで、質の担保されたBCP策定に資する情報や知見を得ることができる。

重視している点

- 1) オールハザード・アプローチを基調とすること（全災害対応型）
- 2) エスカレーション・ロジックモデル（被害レベルの想定）を組み込むこと
- 3) 組織全体でBCP策定のプロセスに関与し、業務継続マネジメント（BCM）を組織の文化として根付かせること
- 4) 策定に資する知見や各機関の取り組みに関する情報を得て、自機関のBCP策定に活かすことができる

4. 受講資格

以下の全て条件を満たす者とする。

1. 2回にわたる全ての研修に途中退席することなく参加できること
2. 策定したBCPを提出すること
3. 研修修了後、本事業に協力し、近隣の医療機関等におけるBCP策定支援に取り組むこと
4. インターネットにカメラ付きのコンピューターを使ってアクセスできること

<研修受講に必要な環境及び機材について> ※下記の設置例を参照のこと

・インターネット環境（スマートフォンのテザリングや、携帯型Wi-fi通信機の利用は推奨できない。

アップロード、ダウンロード速度が3.0Mbps以上を安定して確保できる環境を推奨。

※速度テスト方法：研修に使用する環境で、<https://www.google.co.jp/> から「インターネット速度」と検索し、「速度テストを実行」)

・カメラ付きコンピューター（最新のZOOMアプリをダウンロードしておくこと）

・マイク付きヘッドホンでの参加を推奨

5. 本事業にかかる調査や研究等に協力すること
6. 本研修会を修了したことについて、厚生労働省及び都道府県に対して、氏名、所属及び連絡先と併せ報告することに同意すること

5. 修了資格

「全2回すべての研修に出席」かつ「策定したBCPを期限内に提出」を満たす参加機関に対して研修の修了証を交付。

【第 1 回入院医療機関版 BCP 策定研修 講師】

山岸 暁美 慶應義塾大学医学部公衆衛生学教室
一般社団法人コミュニティヘルス研究機構機構長・理事長

池上 徹則 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 救急科主任部長

【第 1 回入院医療機関版 BCP 策定研修ファシリテーター】 ※担当グループ順

- 1G 岩元 崇 医療法人和香会 倉敷スイートホスピタル
- 2G 楠 孝司 国立成育医療研究センター
- 3G 高石 利央 山梨市立牧丘病院
- 4G 守田 亨 医療法人社団欣助会 吉祥寺病院
- 5G 小山 晃子 倉敷市立市民病院
- 6G 宮崎 公志 社会医療法人祐愛会 織田病院
- 7G 古屋 聡 山梨市立牧丘病院

第 1 回目ワークショップ タイムテーブル

開始	終了	時間	プログラム
14:00	14:05	5	オリエンテーション・開催挨拶
14:05	14:30	25	BCP の基礎知識
14:30	15:00	30	ショートレクチャー・質疑応答
15:00	15:10	10	BCP 策定の具体（講義） 業務影響分析
15:10	15:50	40	グループワーク 1
15:50	16:00	10	休憩
16:00	16:20	20	BCP 策定の具体 BCP サマリー・各部門の業務影響分析・BCP の文書化
16:20	16:45	25	グループワーク 2
16:45	16:55	10	まとめ・質疑応答
16:55	17:00	5	事務連絡